



阿佐谷福祉工房施設公開時の一コマ

昨年創立45周年を記念して建築中であつた本部屋舎の工事が遅れまして、利用者はじめ御家族及び関係各位の方々に御迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

阿佐谷福祉工房と名称も変え、定員は60名に増え、ショートステイの定員は8名に、日帰りショートステイは4名と、多くの皆様に利用していただける施設に変わりました。

さらに、目黒区立目黒本町福祉工房は4月から指定管理者として運営を開始しました。

両施設の約9カ月間の実践を検証するという課題が見えてきましたので、今年はいよいよ一層サービスの質の向上を目指して職員の研修に力を入れていきます。

自立支援法施行後、工賃ア

谷区内の障害者施設でコンサートをしました。杉並からわざわざ演奏を応援にきてくれた人が居り、その方がコンサートを見ていたお客様が話していた言葉を覚えてくれました。「あのおっさん達すごいなあ何者なんだい？」って言うていたことに対して、心の中で「音楽だけじゃなくて仕事もすごいんだよ！」って言うていたのよって言われたんです。

なんとる誉め上手。その夜、気持ちよくお酒が飲めたことは言うまでもありません。こうありがたいですね。

「いたる賛助会入会のご案内」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可) 郵便振り込み 001107128892 (間)339217346 事務局 山本まで

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可) 郵便振り込み 001107128892 (間)339217346 事務局 山本まで

いたる通信 47 新年号

ITARU CENTER

目次 contents

- 01 巻頭言 理事長あいさつ
- 02 阿佐谷福祉工房あけぼの作業所 法人本部
- 03 クローバー GH・CH事業部 サポートウイズ いたる相談室
- 04 Puku Puku さんまるしえ 目黒本町福祉工房

「いたる賛助会入会のご案内」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可) 郵便振り込み 001107128892 (間)339217346 事務局 山本まで

新年明けましておめでとうございます

社会福祉法人 いたるセンター

理事長 谷山 哲浩

ばならないでしょう。

さらに、この4月からは自立支援法から総合支援法に改まり、発達障害、医療的ケア、難病の方への支援等、専門性のある福祉・医療サービスが求められます。

地域で安全に安心して暮らしていくには、これらの大きな課題を解決する必要があります。そのためには訪問介護ステーション及び看護ステーションの準備も考えています。

障害支援の重度化・専門化が鍵となるいま、当法人は時代のニーズに沿って軽度の方、中度の方、重度の方として重複障害の方々に応える福祉・介護サービスの充実はもちろん、将来においては医療サービスの提供も視野に入れていきます。

今年も皆様の御支援御協力のほどよろしくお願いいたします。

合掌

好評！福あんぱんプレゼント！

パン工房PukuPukuの新年は、「福あんぱん」のプレゼントでスタート。ポイントカード登録者・VIP会員の100名に発送した年賀状を1月4日・5日の両日にご持参いただいたお客様にお配りします。

昨年までお世話になった皆様への感謝を込めた企画で毎年好評です。

また、1月中旬からはバレンタイン企画が始まり、チョコ



福あんぱん

コをあしらった期間限定商品を販売します。ご期待ください。

SunMarche (さんまるしえ)

新年にふさわしいグッズがいっぱい！

オープンして二回目の新年を迎えるSunMarcheでは、目黒区内にある各施設と共同企画した新年にふさわしい商品(干支飾り、カレンダー、年賀状、新年リース、ポチ袋、豆もち・のしもちなど)で店内をいっぱいにして、お客様をお迎えします。

また、冬場の一大イベントのバレンタイン企画では、各施設より焼き菓子、パンを中心に期間限定商品のフェアを



干支の土鈴「今年は、巳年です！」

スタートします。お楽しみにしてください。

目黒本町福祉工房 団長日記 VOI. 3

「高揚感」

この原稿が皆さまの目に触れる時には、記念すべき第1回目のお祭りが終わり、様々な評価が為されていることとなります。

おまつりまで一週間を切った今日の心境は「不安V期待」といった状況です。

人の感動や共感を呼ぶためには熱すぎるくらい熱気が必要ですが、その点が少し欠けているからだと思えます。準備の過程を通じて福祉工房が抱えている課題が何か、見えな気がしました。その諸課題をどう克服していくのか、その手段を早急に模索していかなければなりません。

残り少ない日数の中で今はただご来場者に「楽しんでいただくためには」「喜んでいただくためには」この2点にスタッフの思いを揃えて、当日を迎えたいと思っています。

さて、意気消沈から意気軒昂に向けて気持ちを鼓舞するために、最近一番嬉しかった言葉を最後にお伝えします。

10月のある土曜日、世田



久寿玉でお祭りを祝いました。

工房長 村瀬 史真

目黒区長ご来訪

10月23日(火)午後、青木英二目黒区長様が区立の片外施設訪問の一環として目黒本町福祉工房を訪れました。村瀬工房長から施設の運営状況の説明を聞きながら作業に励む利用者や職員へ労いの声をかけていかれました。

●目黒区長からのメッセージ●

「区立目黒本町福祉工房は、多機能型事業所として平成23年4月にオープンし、本年4月からは「いたるセンター」に管理運営をお願いしていますが、皆様のご努力により、障害者の方々の生活の場、就労の場として、利用者が毎日明るく笑顔で、充実した生活を送っています。今後とも利用者やご家族、地域から愛される福祉施設を目指して一層のご尽力をお願いします」



目黒区長訪問時の1枚です。

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩

社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032 東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: http://www.itarucenter.com/
発行日/平成24年10月1日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。



阿佐谷福祉工房

これからの工房の歩む道

施設長 佐藤 章
(さとう あきら)

新 屋舎での事業を再開し、名称も「生活園」から「工房」へ変更してもうすぐ1年を迎えます。目まぐるしく変わる社会情勢の中にあってもご利用者様が満足いただけるような安全・安心・安定したサービス提供を心掛けています。新屋舎にも慣れたので、今年は工房の飛躍の年にしていきたいと思っています。

私自身は、昨年9月より施設長として就任しました。今前施設長が進めていた事業方針をしっかり受け継ぎ、未来を見据えて改革を行っていきます。どんなに障害が重くても「働くことに喜びを感じる」ことができるような仕事の提供を行っていきます。

また、地域貢献も含めて費用対効果のある行事を積極的に行っていきます。

昨年11月23日(祝)に行った施設公開、当法人では今までにない形で行いました。近隣の皆様はじめ、関係者の皆様がゆったりと施設の見学をしてくださいました。施設見学を通して、初めて



法人の給食用パンの製造開始!

輝きをお見せすることが出来たと思います。

今後ご利用者様と地域の方がふれあい、交流を深める場を提供していきます。

普段の日中の活動については、所得保障を目指して工賃アップを行っていきます。

「工房自主生産品」のブランド化を図ります。高級感や付加価値を付けた自主生産品を、区役所販売を始め、地域拠点での出張販売を積極的に行っていきます。

「働く」ことで得た「工賃」を日々の余暇活動に使うことが当たり前になるような施設にしていきます。

あけぼの作業所

凡事徹底

所長 阿久津 庄司
(あくつ しょうじ)

あ る日、事務所の書棚にあった一冊の本が目にとまりました。

タイトルは「凡事徹底」(平凡を非凡に努める)。作者は鍵山秀三郎氏。

作者は、日常の当たり前のことを徹底してやり続けることの大事さを説いていました。そうすることで、いつしか縁ができて、周囲から感謝され、喜ばれる、というのです。

ただ、そこに見返りを期待

法人本部より

荻窪警察より表彰される

昨 年の11月21日、阿佐谷福祉工房の職員である浮須真也さんが、区立杉並会館・末広の間で行われた表彰式で、「優良安全運転管理者・荻窪警察署署長表彰」を授与しました。近隣の方々から、「いつも朝の挨拶を欠かさない気持ちのよい職員がいる」と、お褒めの言葉をいただいたこともある浮須さんは、安全運転管理者になって3年目。今後の抱負として、「安全運転



表彰式の様子

などの打算があったら長く続かないし卑しく見えるとも。そこで我々の仕事に置き換えてみると、まさに「凡事徹底」。毎日メンバーさんと、共に働き、共に悩み、時には共に遊び、「共生」を追求し実行し続けることではないかと。ここで一発逆転満塁ホームランを打てる(すぐに結果、成

管理は、継続していくことが大切です。これからも変わらぬ安全を積み重ねていきたい

と思います」と語ってくれました。

HPリニューアル!

長らく情報の不備でご迷惑をおかけしていたホームページですが、リニューアルに着手しました。法人の全容を始め各事業部の情報など分かりやすく掲載していきます。

【http://www.itarucenter.com/】

クローバー事業部

ご利用お待ちしております!

所長 影山 仁美
(かげやま ひとみ)

新 年あけましておめでとうございます。昨年は、新屋舎への移転、旧マルコの閉所、新マルコの開所と事業所にとっても、ご利用される皆様にとっても変化の多い年だったことと思います。その中、200名を超える方がクローバーで、新契約書での契約取り交わしをしてくださいました。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

平成24年4月中旬以降の契約がまだお済みでない方は、平日の10時~18時の間でお問い合わせをお待ちしております。

さて、クローバー(8床)が始まって9か月、マルコ(4床)が始まって3か月経ちますが、クローバーは月々水曜日、マルコは月曜日が比較的にご予約が取りやすくなっています。詳しくは、クローバーへお電話ください。

グループホーム・ケアホーム事業部

今後の展開について

ホーム長 白滝 則男
(しらたき のりお)

よ うやく第11ホームの開設の許可がおりました。なにかを説明いたします。

今回は、既存の住宅を改修してグループホームにしようと考えたのですが5部屋あるうちの2階の一室が窓に面していない避難路がないのと、修正してその部屋をトイレ、洗面所にして対応し大きめの

洋室を分割し2部屋にしました。しかし、区の建築課から廊下の幅、階段の幅がバリアフリー条例等の条項に触れると、何を言われました。何度も区の建築課に足を運びやつと100㎡以下であれば問題ないとの返事をいただき許可を得ました。

グループホームを作るにあたって、建築基準法、東京都建築安全条例、建築物バリアフリー条例などをクリアしなければならず、既存の住宅を改修してグループホームにすることは不可能に近いことが改めてわかりました。

今後は既存のアパートを丸ごと借りて改修、アパート・マンションの空室を利用してユニット増を図る方向を考えるのがグループホーム作りの近道だと考えています。

グループホームの不足は、都市型の地域福祉にとって大きな課題です。これからも整備に力を入れていく所存です。

グループプレクの様子



いたる相談室

サービス等利用計画 & 障害者虐待防止法施行について

室長 春山 陽子
(はるやま ようこ)

10 月から障害者虐待防止法(障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律)が施行されました。

杉並区は区役所の中の障害者施策課に虐待の窓口を設置しています。

また、7月から区は、本格的にサービス等利用計画を導入しています。

今年度から3年間でサービスをj利用している方全員の計

サポートウイズ

楽しいっばい、グループプレク

所長 八巻 利子
(やまき としこ)

サポートウイズの集団外出は利用者様の要望から始まりました。

いたるセンターの各作業所に通所されている方、ほかの作業所等に通所されている方、自宅で過ごされている方、グループホームで生活されている方、さまざまな生活をされている方が、ヘルパーさんと1対1になりグループで外出をしています。

目的はいたるセンターに通所している方だけではなく、同じ障害を持つ方々とのふれあい、色々な方達と慣れ親しんで頂きたいの思いと生き生きとした姿を感じてほしいの思いで行っています。

皆様の笑顔に感謝の気持ち一杯です。



グループプレクの様子